

新入生魅力度調査・卒業予定者満足度調査

今年度は、平成 24 年度以降に行った「新入生魅力度調査」及び「卒業生満足度調査」のうち、平成 24 年度および平成 25 年度の新入生魅力度調査を実施した学生について、卒業時に実施した平成 27 年度および平成 28 年度卒業予定者満足度調査の結果と合わせ、2 年度分のデータを活用し、入学時の魅力度と卒業時の満足度のギャップを集約・整理した。その結果をもとに全学および各学科において、特に満足度評価が有意に下がっている項目について、今後の対策を検討してもらった。また他項目についても検討をお願いした。

【 環境園芸学科 】

(1) 新入生魅力度調査報告

106 人からの回答が得られ、設問の種別ごとに纏めた。

※ ちなみに設問によっては全員が回答しておらず、データから除外したため、設問の回答数の合計が 106 人にならない場合がある。

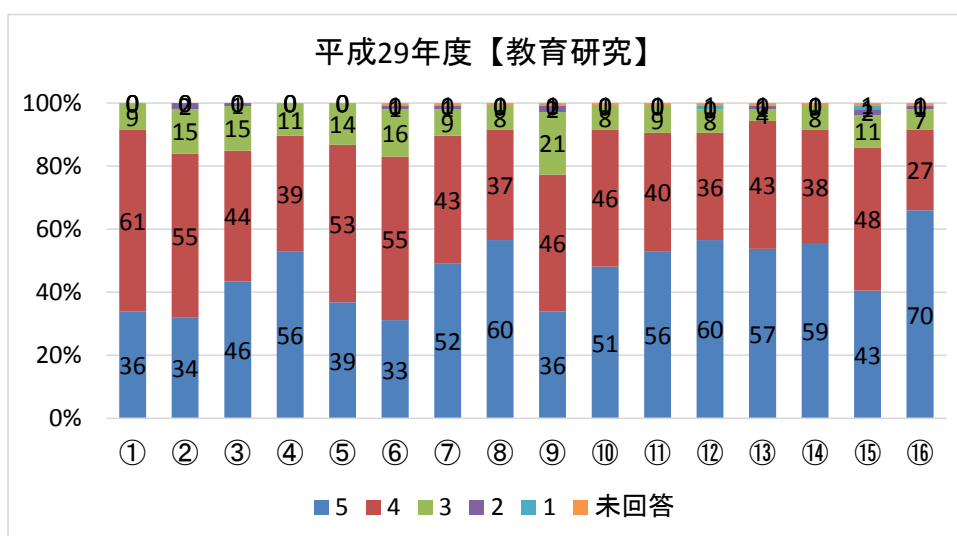
※ 5 段階（5：特に魅力を感じている 4：多少魅力を感じている 3：どちらでもない 2：あまり魅力を感じない 1：まったく魅力を感じない）で評価している。

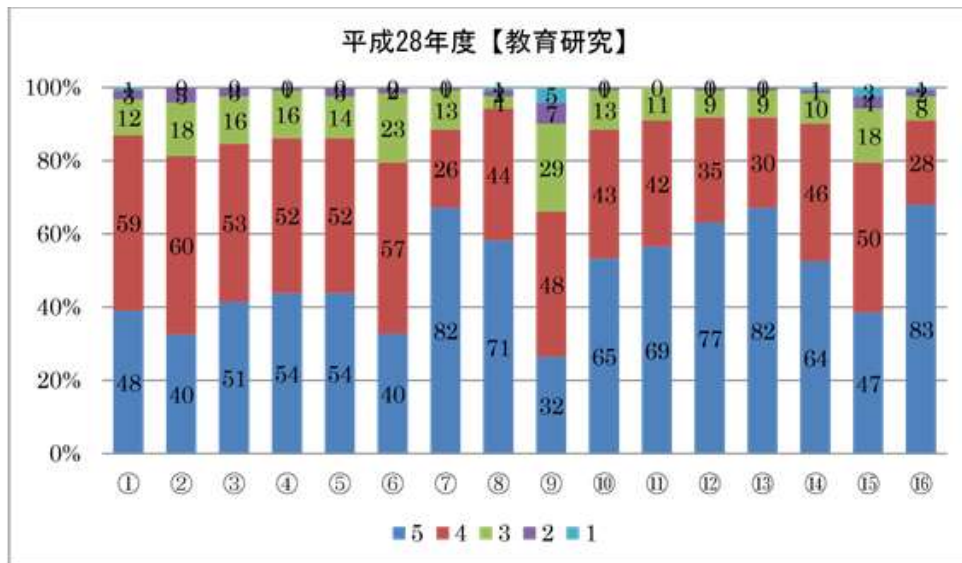
1) 教育研究について

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度 魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6つの専攻（園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス）を設けていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。



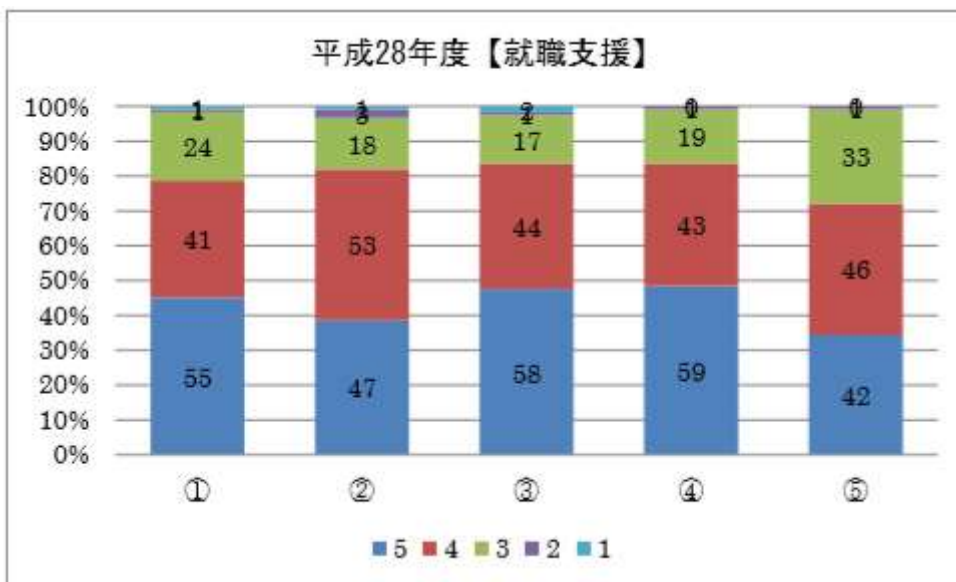
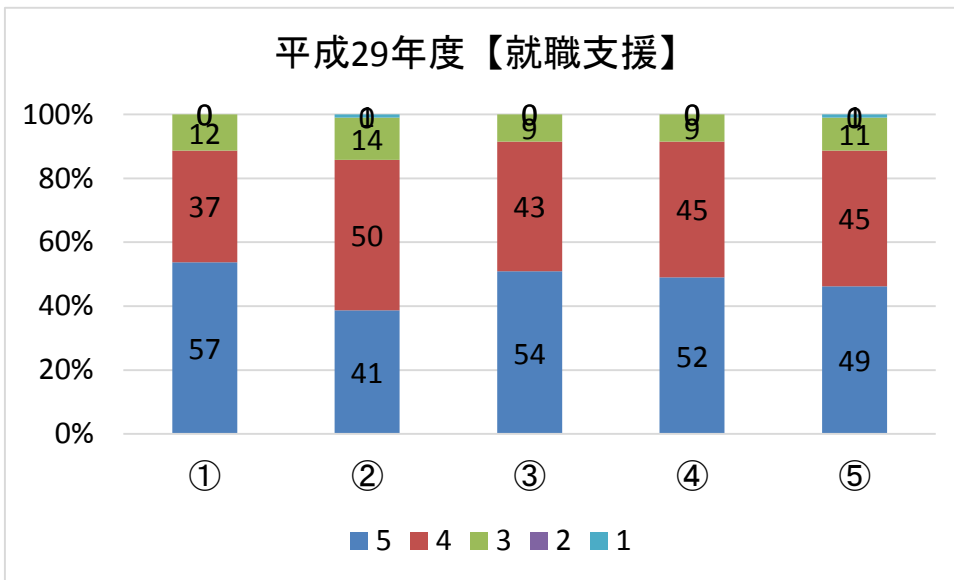


昨年度より満足度が高い傾向がみられる。全ての設問で新入生の多くが「5：特に魅力を感じている」または「4：多少魅力を感じている」と答えており、本学ならびに環境園芸学科の教育研究理念やカリキュラムに受験生に対する一定の訴求力があり、新入生はそれに期待しているものと考えられる。昨年度および一昨年（データ省略）と同じく、全設問の中で設問⑨（教養教育科目の設置）が最も魅力度が低い。環境園芸概論など通し、入学後早い段階で新入生全員に教養教育科目の重要性・位置づけを理解させることも必要であると考えられる。

2) 就職支援について

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「将来の進路に関するセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。



全ての設問で 80%以上の新入生が「5：特に魅力を感じている」または「4：多少魅力を感じている」と答えており、昨年度より満足度が高い傾向がみられ、新入生の就職支援に対する期待度の高さがうかがえる。今後、卒業年次に実施する卒業生満足度調査とあわせた分析が必要であると思われる。

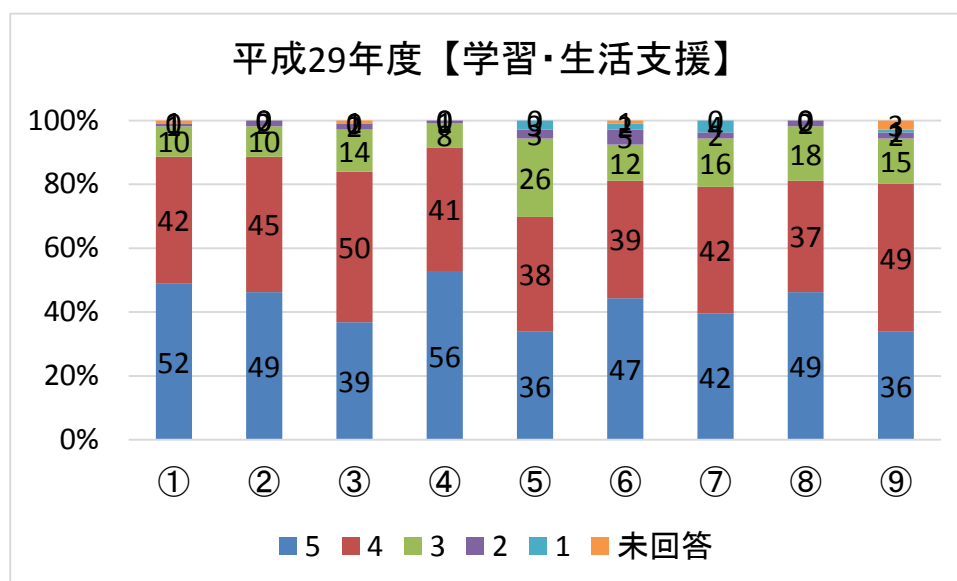
3) 学習・生活支援について

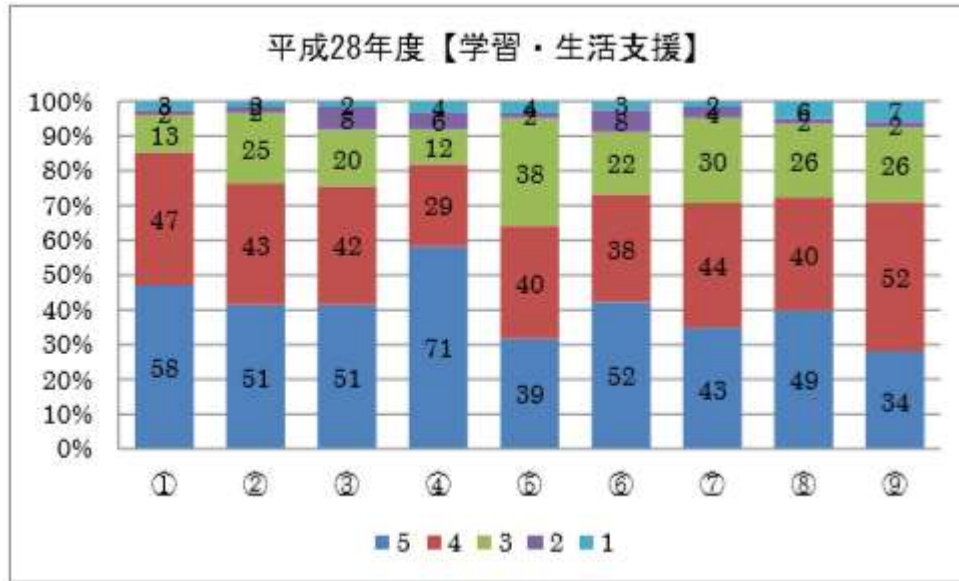
【学習・生活支援に対する質問】

① あなたは南九州大学の「学生支援課」があり、当該課の専門スタッフが学習支援（各

種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等) をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実して楽しく思い出に残る学生生活を送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。





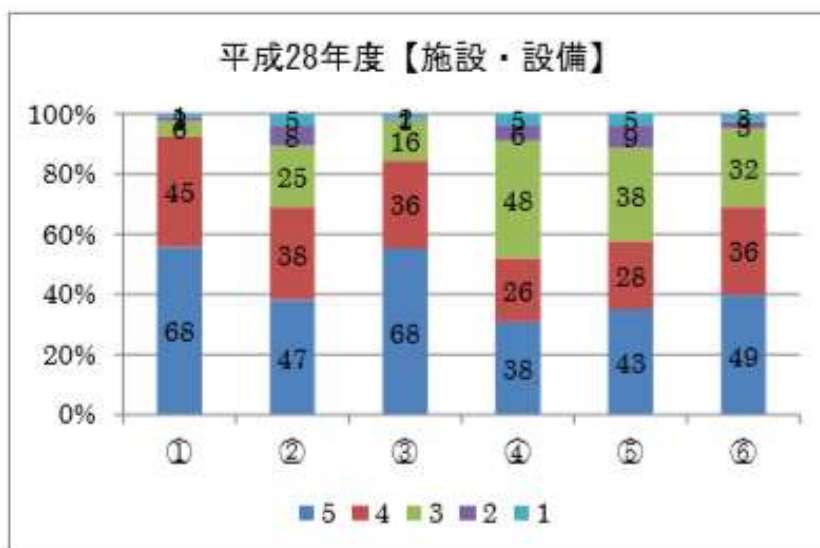
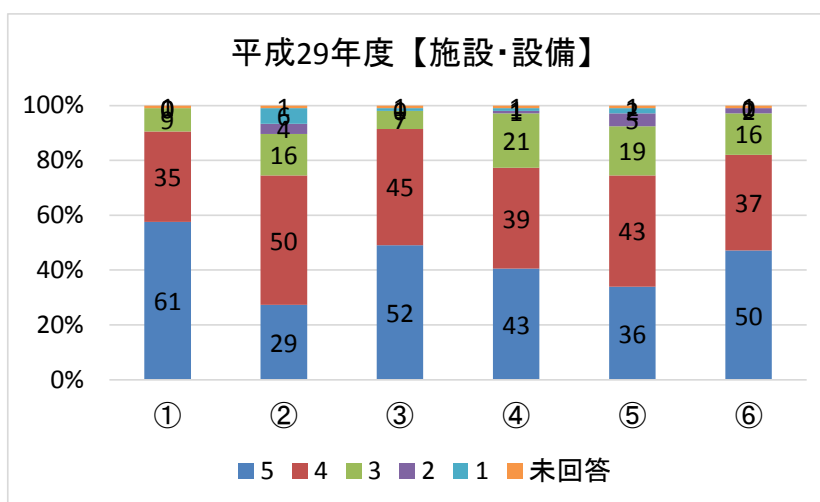
昨年度と同様に全ての設問において6割以上が魅力を感じており、一定の学習・生活支援に対する期待感が伺える。ただし、「5：特に魅力を感じている」については、昨年度および一昨年度に引き続き、設問⑨「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」が最もポイントが低かった。担任制度の有効性が入学時には理解されていないことがその原因の一つとも考えられることから、新入生オリエンテーションなどを通じて具体的な支援内容などについて説明し、重要性を理解させる必要がある。

4) 施設・設備について

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内LANの充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グランドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ

等) が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。



全体的に昨年度と同様な傾向にあるが、設問②「インターネット環境が充実し整っている（学内LANの充実、情報処理室の充実等）」については、「5：特に魅力を感じている」と評価した学生が、昨年度よりも大きく減少している。そのほか、キャンパスの施設・設備については概ね好印象を頂いていると思われる。

5. 全体を通して

全体として昨年度と結果はよく似ていた。大きな変化がない限り、この傾向は変わらないのかもしれない。調査した各設問に対して、あまりあるいは全く魅力を感じないとの回答「1、2」は概ね1割未満であり、本学並びに本学科の教育研究、就職支援、学習・生活支援および施設・設備は新生生の多くに魅力あるものになっていることが示された。この高い魅力度を高い満足度に維持・向上に繋げる取り組みが重要であると思われる。また、

新入生（高校生）のニーズは変化するものと考えられることから、今後、時代に即した対応や本学の特色や魅力度をさらに高める取り組みも必要であると考えられる。

（2）卒業予定者満足度調査報告

83 人からの回答が得られ、設問の種別ごとに纏めた。

※ ちなみに設問によっては全員が回答しておらず、データから除外したため、設問の回答数の合計が 83 人にならない場合がある。

※ 5 段階（5：特に満足している 4：多少満足している 3：どちらでもない 2：あまり満足していない 1：まったく満足していない）で評価している。

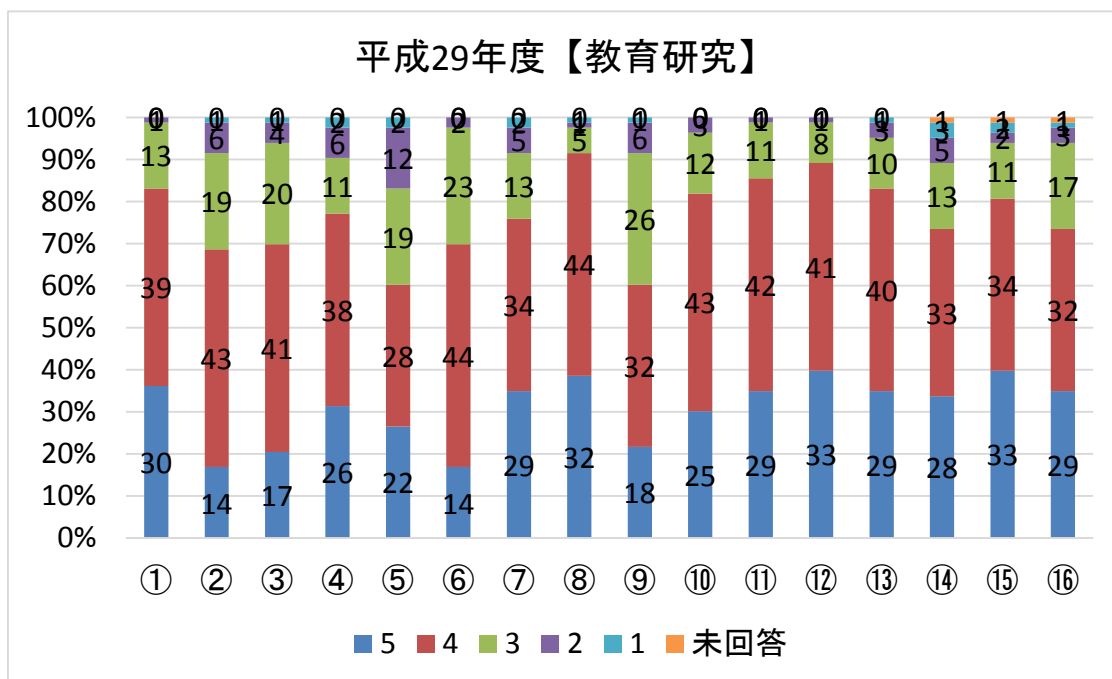
1) 教育研究について

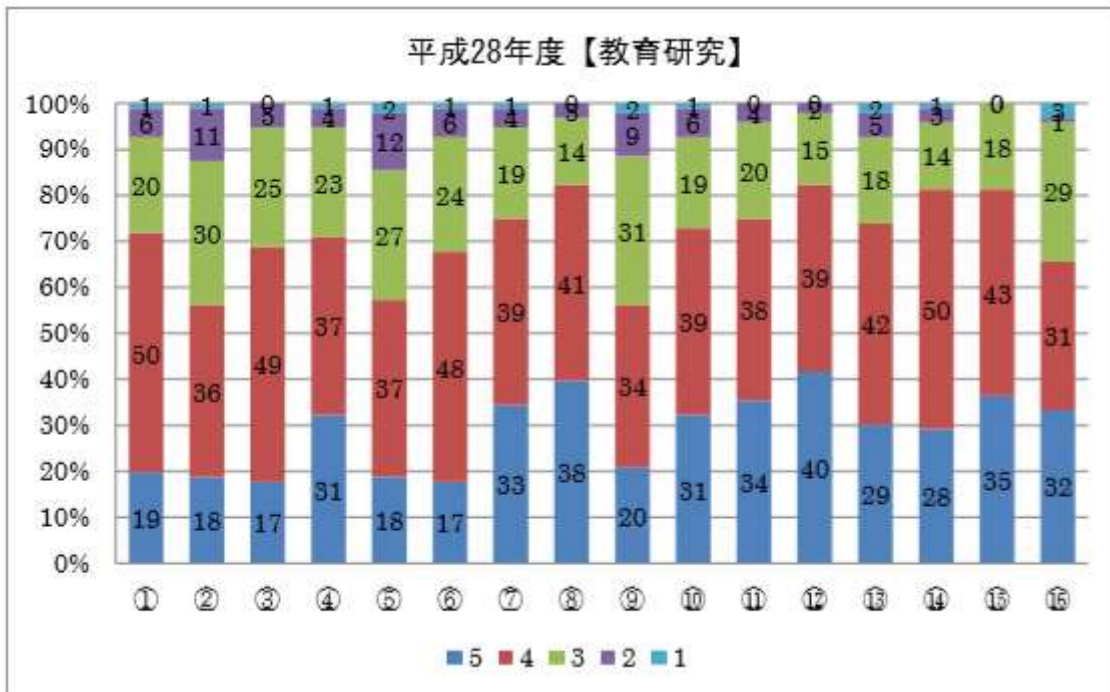
【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6つの専攻（園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス）を設けていることにどの程度満足しましたか。
- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科

目」を設置していることにどの程度満足しましたか。

- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度満足しましたか。
- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。





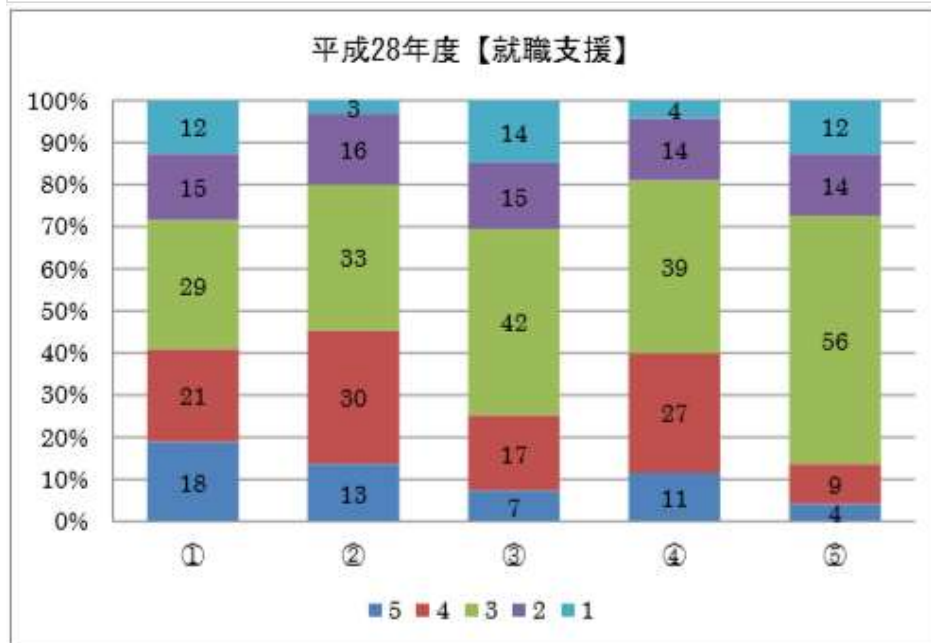
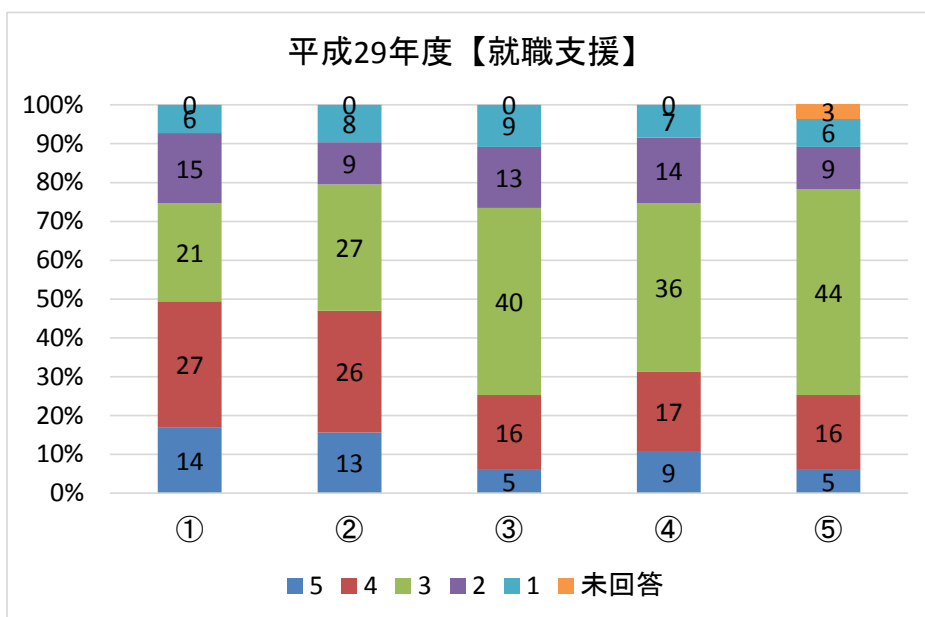
頻度分布グラフを見ると、すべての設問で、60%以上の学生が満足（4以上）と回答しており、満足していない（2以下）と回答した学生は20以下と概ね良好な値を示している。今年度、満足（4以上）と回答した学生の割合が低かったのは、設問⑤「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」と設問⑨「教養教育科目の設置」であった。設問⑨は昨年度、一昨年度ともに低い傾向にある。これらの結果から、本学科の学生は概ね満足（4以上）しているものの、「教養教育科目」よりも「専門科目」に高い関心を持っていることが示唆された。今後、学生への「教養教育科目」の重要性の理解や在り方、「教養教育科目」と「専門教育科目」のバランス（専門の特化も含め）などについての検討が課題として考えられる。

2) 就職支援について

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援してくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「将来の進路に関するセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。

⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。



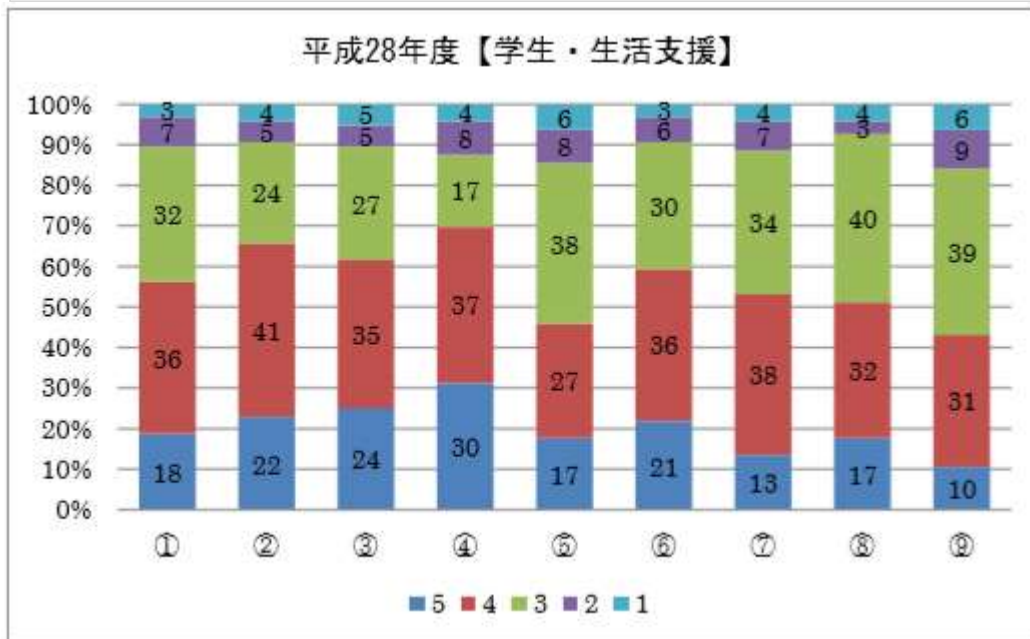
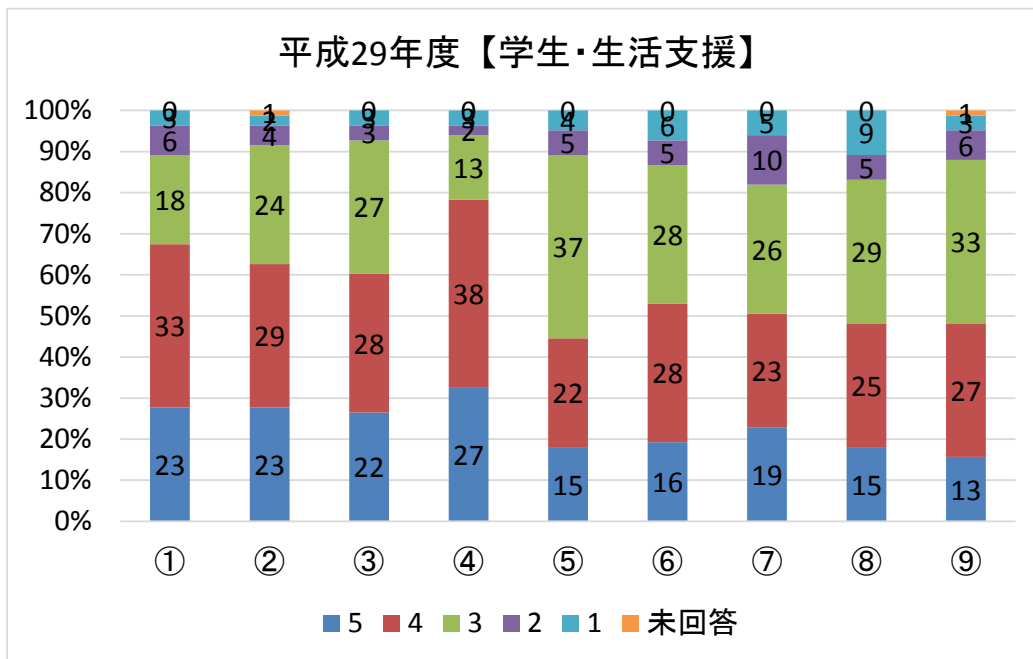
昨年度より、設問①「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」および⑤「インターンシップ制度が充実している」で満足度（4以上）が増加した一方、設問④「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」で満足度（4以上）が減少した。昨年度は一昨年度に比べ、設問⑤のインターンシップの制度についての満足度が高くなったが、本年度はそれが回復した。設問③「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」については、昨年度と同様に満足度（4以上）が25%程度と低評価であるが、この原因としては、本学科の学生は全国から集まっていること、地元へU

ターン就職しない学生が多いこと、などが考えられる。いずれにしても早期に地元にどのような就職先（企業・役場・団体など）があり、それらの求人や採用試験の情報収集と対応が重要であることを就職課と連携を取り学生に指導していく必要があると考えられる。また、説問⑤のインターンシップ制度について、本年度は昨年度に比べて満足度（4以上）が増したが、それでも25%程度と低いことから、就職課および学科として充実を検討して、その内容・取組みについての学生へのさらなる周知が必要であると考えられる。

3) 学習・生活支援について

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「学生支援課」があり、当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。



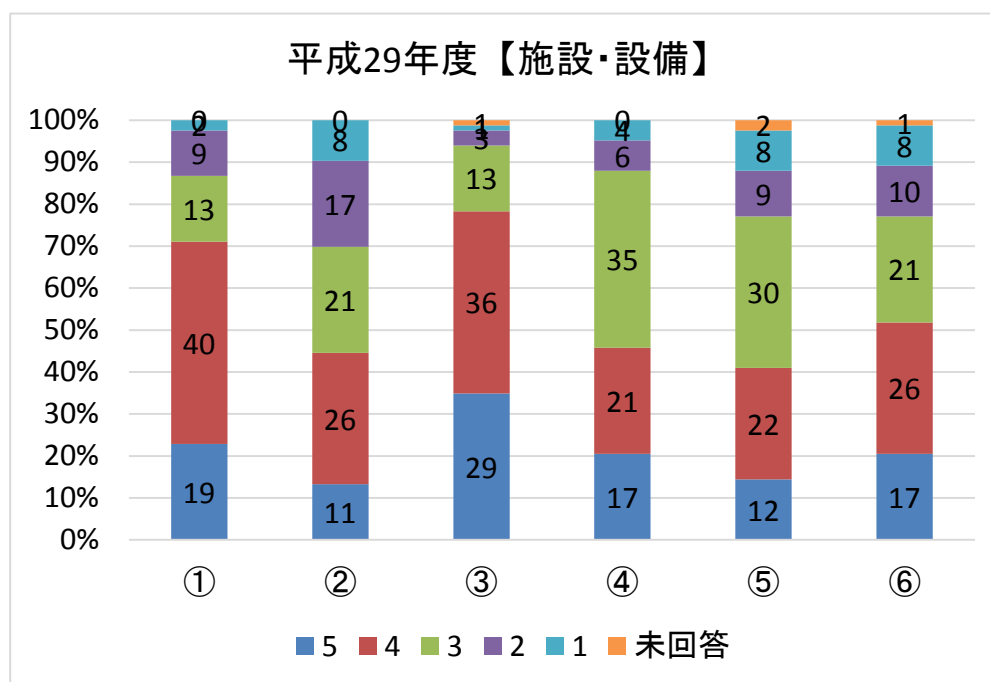
昨年度と比較して、設問①「“学生支援課”があり、当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」と④「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかってくれている」満足度（4以上）が増加し、それ以外の項目については、昨年度と同様であった。また、70%程度が満足と回答したのは昨年度と同様に設問④「生協売店・食堂の充実」の1項目だけであった。設問⑤「下宿生を対象にした住居の斡旋」と設問⑨「担任制度」については、昨年度と同様に50%以下であり、対策を検討する必要がある。設問⑨については、本学科では3年前期までは学年ごとに4人の教員が、3年後期の研究室配属後はその研究室の教員が担任として指導に当たっているが、研究室配属後の教員を担任として考えて回答していない可能性があり、こ

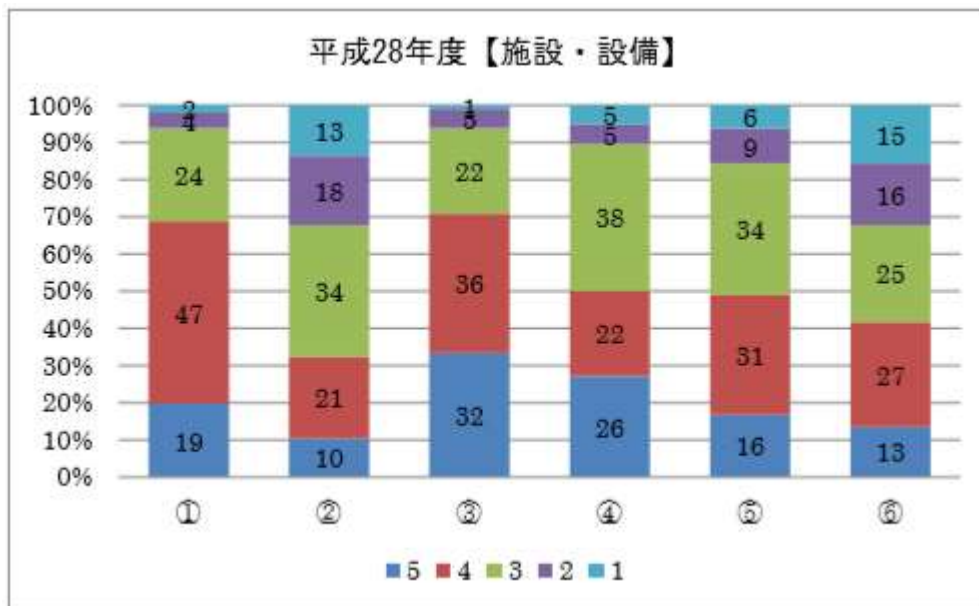
のことについて学生に周知することや設問を修正することにより、満足度が上がる可能性がある。

4) 施設・設備について

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内LANの充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度満足しましたか。





昨年度と同様に設問②「インターネット環境の充実」、④「通学に便利である」、⑤「運動施設やサークル活動の支援施設の充実」で満足度（4以上）が50%以下と低評価であり、早急に対策を検討する必要がある。特に、設問②「インターネット環境の充実」と設問⑤「運動施設・サークル活動の支援施設」については、Wi-Fi環境の充実や運動施設・サークル活動のハード面での整備充実などの全学的な検討が必要である。また、満足度（4以上）が70%を超えている項目としては、設問①「研究・実習用の設備・環境」と設問③「快適な校舎」の2項目であった。これらの項目は概ね高評価であるが、本学の特徴としてさらなる充実を図っていく必要がある。

【 管理栄養学科 】

新入生魅力度調査報告

【教育研究に対する質問】

- ・質問①から⑤までが「南九州大学」の教育研究の理念等に対する魅力度調査であり、質問⑥から⑮までが「管理栄養学科」の教育研究に対する魅力度調査であった。
- ・質問①～⑤では4あるいは5（多少魅力あるいは特に魅力を感じている）に回答している割合が順に83%、75%、87%、83%、81%であった。特に質問③の南九州大学の「食・緑・人」に関する研究、人材育成への魅力度が高いことが分かった。
- ・管理栄養学科における教育研究に対する質問に対しては、すべての項目で平均値が4.0以上となっていることから、「管理栄養学科」の教育研究に対する魅力度が高いことが分かった。その中で質問⑧「管理栄養士国家試験受験資格を取得できる」点への魅力が平均値4.78と引き続き高い魅力度となっていた。今年度はさらに質問⑭の「国家試験合格に向けた支援の充実、合格率100%を目指している」点への魅力が平均値4.76と管理栄養学科の国家試験対策に魅力を感じ、期待を持って入学してきていることが分かった。
- ・質問⑦の「応用実践力、広い視野を持つ管理栄養士の育成」や質問⑩の「臨地・校外実習をカリキュラムに組み込んでいる」点への魅力も平均値がそれぞれ4.46、4.52と高い数値であった。卒後に活かせる教育に魅力を感じていることが分かった。

【就職支援に対する質問】

- ・就職支援に対する魅力度については、すべての質問項目で平均値が4.0以上となっていることから、就職支援に対する南九州大学の体制が整っており、その点に魅力を感じることがうかがえる。
- ・質問②の「進路に関するセミナー・ガイダンス、公務員・教員就職のための講座の充実」について、管理栄養学科では管理栄養士という専門職で医療現場や施設等での就職が多いため、授業の中で卒後に向けて現場で働く管理栄養士の話を聞けるような機会を増やしていく予定である。
- ・質問③「Uターン就職」については平均値が4.16となっているが、管理栄養学科は宮崎県内出身者の多い学科であることから、「宮崎県内の地元就職に対する魅力度」について質問を設けてもいいかもしれない。

【学習・生活支援に対する質問】

- ・質問⑤⑥⑨以外は平均値が 4.0 以上であった。その中で質問④「生協売店・生協食堂の充実」に対する平均値が 4.51 と特に高かった。また、質問①②の「大学の学生支援課や図書館の充実」にも 8 割以上が 4 あるいは 5（多少魅力あるいは特に魅力を感じている）に回答していることから、南九州大学の学習・生活支援に対する体制やサポートに魅力を感じていることが分かった。
- ・質問⑥の平均値が昨年同様 4.0 を下回っていたが、75%以上が 4 あるいは 5（多少魅力あるいは特に魅力を感じている）に回答しており、今年度は質問⑦「有意義な学校行事（大学祭等）」の平均値が 4.14 となっていることから、おおむね南九州大学の課外活動や学校行事に魅力を感じていると思われるが、引き続き積極的な参加への呼びかけをしていきたい。
- ・質問⑤については例年同様どちらでもないとの回答が最も多かった。管理栄養学科では地元宮崎県出身者が多いため、このような結果となったと考えられる。質問内容や選択項目の見直しが必要と考える。

【施設・設備に対する質問】

- ・質問②で平均値が 3.94 でそれ以外はすべて 4.0 以上となっていることから、南九州大学における施設・設備におおむね魅力を感じていることが分かった。特に質問③「キャンパスが清潔で機能的、快適である」の平均値が 4.49 と例年同様高く、管理栄養学科が設置されている宮崎キャンパスは開設 10 年以上経つがキャンパスの維持・管理が行き届いていることがうかがえる。また質問⑥「休憩時間中にすごせる憩いの場の充実」でも平均値が 4.27 と高くなっていることから、入学後のキャンパスライフに魅力を感じ、期待を持って入学してきていることが分かった。
- ・質問①「最先端の機器を導入した実験施設の充実」に対しても平均値が 4.40 と高くなっており、入学後すぐに開講される実験などを行う環境が充実していることがうかがえる。
- ・質問②は平均値が例年同様 4.0 以下であることからインターネット環境、特に Wi-Fi 環境の充実が必須かと思われる。
- ・質問④では通学に関して、地元宮崎県出身の多い管理栄養学科の新生生にとっては、駅と本学を結ぶスクールバスや車で通うための駐車場が完備しており、魅力を感じていることが分かった。

卒業生満足度調査報告

【教育研究に対する質問】

- ・質問①から⑤までが「南九州大学」の教育研究に対する満足度調査であり、質問⑥から⑩までが「管理栄養学科」の教育研究に対する満足度調査であった。
- ・まず「南九州大学」の教育研究に対しては質問①の平均値が昨年に引き続き 4.0 以上 (4.20) であったことから、南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めたことに満足していることが分かった。
- ・質問②～⑤については、平均値がすべて 3.5 以上となっており、その中でも質問③「専門分野における社会に貢献できる人材育成」や、質問④「教員の質」については 8 割近くが 4 あるいは 5 (多少魅力あるいは特に魅力を感じている) に回答していることから、南九州大学の研究教育体制におおむね満足していることが分かった。
- ・次に管理栄養学科の教育研究に対しては、質問⑧の「栄養士および管理栄養士国家試験受験資格を取得できる」点への満足度が 4.26、質問⑩の「国試対策」に対する満足度の平均値が 4.04 と高い数値になっていることから、管理栄養士免許取得を目的として本学科に入学し、それを実現するための支援がしっかり充実していることがうかがえる。
- ・質問⑩の「現場で職業体験ができる臨地・校外実習がカリキュラムに組み込まれていること」への満足度が 4.41 と高い数値となっていたことから、大学での座学や実験実習だけでなく実際に現場で学べたことに満足していることが分かった。学生たちは技術習得に力を入れたいと考えており、満足度が上がっているのではないかと考えられる。
- ・「管理栄養学科」の教育研究に対するそれ以外の質問については、平均値が質問⑨を除いてすべて 3.5 以上となっており、管理栄養学科の研究教育体制におおむね満足していることが分かった。

【就職支援に対する質問】

- ・ほとんどの質問項目において平均値が 3.5 以下となっており、就職支援に対して満足度が低いことが分かった。管理栄養学科の場合は専門職であるため、多学科と就職活動の進め方が異なることから、このような結果になったと思われる。
- ・特に質問④「関連する業界の求人情報を多く扱っている」点への満足度の回答が分散し

ていた。一般企業に就職を希望する学生とそれ以外の学生では求人体制が異なることからこのような結果になったと考えられる。

- ・質問③の「地元への U ターン就職へのサポート」に対しては 4 割以上が 3（どちらでもない）に回答しており、宮崎県内出身者が多いことが原因と考えられる。この質問に関しては例年同様の結果となっており、また管理栄養学科では地元出身の学生が多いことから、今後質問内容についても検討が必要と思われる。
- ・質問⑤の「インターンシップ制度の充実」に対して 4 割以上が 3（どちらでもない）に回答し、回答も分散していることから、本学科ではインターンシップ制度を殆ど利用していないため、このような結果となったと思われる。この質問に関しては例年同様の結果となっており、質問内容について検討が必要と思われる。
- ・質問②～質問⑤については管理栄養学科独自の質問内容に変更する必要があると思われる。

【学習・生活支援に対する質問】

- ・質問②の図書館、質問④の生協売店・生協食堂の学生生活の支援に対して、昨年同様平均値が 4.0 以上であったことから、学生にとって学生生活を送るうえで、日頃よく利用する場については満足度の高いものであることが分かった。保健室、学生相談に関する質問③について昨年度は 3 のどちらでもないと回答するものが多くみられたが、今年度は、4 あるいは 5（多少魅力あるいは特に魅力を感じている）に回答している割合が 73%となっていた。学年により、使用頻度が異なってくるため毎年数値が変動することが予想される。
- ・例年同様、特に平均値が低かった質問⑤は下宿の斡旋に関するもので、回答が 3 の「どちらでもない」が半数以上を占めていた。管理栄養学科では地元出身の学生が多いことから、今後は質問内容についても検討が必要と思われる。
- ・その他の質問項目でほとんど平均値が 3.50 前後であったことから、おおむね満足していると思われる。

【施設・設備に対する質問】

- ・質問②「インターネット環境の充実」のみ、平均値が 3.47 であった。魅力度調査同様数値が低く、今後インターネット環境、特に Wi-Fi 環境の充実は必須ではないかと考える。それ以外ではすべての質問項目で平均値が 3.5 以上であったことから、南九州大学の施

設・設備に対しておおむね満足していると思われる。特に質問③の平均値が昨年に引き続き平均値が 4.5 以上 (4.73) と高かったことから、「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活を送れる」点に大いに満足していることが分かった。学生にとって清潔できれいな校舎は魅力度調査においても数値が高かったことから、今後も一層施設・設備の維持、充実に努めていく。

新入生魅力度・卒業生満足度調査結果分析

①新入生魅力度調査（平成 24 年度、平成 25 年度）

②卒業生満足度調査（平成 27 年度、平成 28 年度）

今年度はこれらのデータを活用し、特に管理栄養学科における研究教育面に対する入学時の魅力度と卒業時の満足度のギャップを分析した。「5：特に魅力を感じる、4：多少魅力を感じる」に回答した学生の割合（％）の変動を示した。

設問	新入生魅力度	卒業生満足度
⑥人生観、世界観を考える社会性と人間性を備えた人材の育成	66	61
⑦専門性を兼ね備えた管理栄養士の育成	78	78
⑧国家試験受験資格を取得できる	92	85
⑨栄養教諭免許が取得できる	77	55
⑩臨地・校外実習の充実	87	89
⑪現場を知る教授陣による学修	72	76
⑫宮崎に貢献できる人材育成	69	75
⑬臨床栄養のスペシャリストとしての知識・技能の習得	77	65
⑭国家試験対策の充実	85	82
⑮充実した研究の設置	79	73

- ・「入学時の期待」値を上回っている項目が複数あり、それ以外はほとんどの項目で数値に大きな変動がないことから、おおむね期待に応えられていることが分かった。
- ・栄養教諭免許取得に関しては、学内審査を経た学生が授業を受講するため、すべての学生を対象とした設問内容ではないため、このような結果になったと思われる。

【食品開発科学科】

新入生魅力度調査報告

[教育研究に対する質問]

- ①あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは食品開発科学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか？
- ⑦あなたは食品開発科学科が、食品の開発・製造（美味しくつくること）に携わる専門家を育成するための教育研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧あなたは食品開発科学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨あなたは食品開発科学科が、1年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑩あなたは食品開発科学科が、1年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑪あなたは食品開発科学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑫あなたは食品開発科学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑬あなたは食品開発科学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑭あなたは食品開発科学科が、3年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技

術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度魅力を感じていますか。

⑮あなたは食品開発学科が、4年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度魅力を感じていますか。

設問①から⑮まで大半の学生が魅力を感じているという結果が得られ、学科の方向性は適切であると言える。また、設問①から⑮まで「まったく魅力を感じていない」と回答した学生はわずか3名（前年は1名）であった。

学科のカリキュラムについても大半の学生が魅力を感じているようで、この点についても学科の方針は適切と思われる。しかし、そうではない学生も皆無ではないので、この点についても今後改善していくことが必要と思われる。

[就職支援に対する質問]

①あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

②あなたは南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

③あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

④あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑤あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

半数以上の学生が「魅力を感じている」と回答しているので、今後も継続して期待に応えられるようにする必要がある。また、「どちらでもない」以下の回答をした学生に対して、原因の究明と改善が必要である。

[学習・生活支援に対する質問]

①あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり、当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

- ②あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関する悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活を送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

ほとんどの学生が「魅力を感じている」と回答しているので、さらに期待に応えられるようにしていく必要がある。また、「どちらでもない」以下の回答をした学生もかなり存在するので、この点に対しても原因究明と改善が必要である。

[施設・設備に対する質問]

- ①あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内LANの充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活を送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

ほとんどの学生が魅力を感じていると回答しており、ある程度期待に添えていると思われる。しかしながら、すべての質問項目に関して「どちらでもない」という回答もかなり多く見られたので、原因の究明と改善を行う必要がある。

卒業予定者満足度調査報告

[教育研究に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。
- ②あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥あなたは食品開発科学科が、食品製造者と消費者の両方の視点、および食に関する科学的知識と倫理を身につけた食品のスペシャリストを養成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑦あなたは食品開発科学科が、食品の開発・製造（美味しくつくること）に携わる専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑧あなたは食品開発科学科が、食品の適正利用（正しく食べること）の専門家を育成する目的で教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑨あなたは食品健康学科が、食品の衛生（安全を守る）・機能性（体調調節）の専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑩あなたは食品開発科学科が、講義に加えて、実験・実習・学外インターンシップなどの授業を多く設置し、実践的能力を身につけるための教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑪あなたは食品開発科学科において、フードサイエンスの基礎科目から食品の衛生・機能性に関する基幹科目、食品の開発・製造および食品の適正利用に関する実学科目に至るまで体系的に組まれたカリキュラムに従って履修できることに、どの程度満足しましたか。

- ⑫あなたは食品開発科学科において、1～3年次に学んだ食品開発および食品利用のあり方を集約して、4年次に卒業論文、専攻演習に取り組むことができることにどの程度満足しましたか。
- ⑬あなたは食品開発科学科において、食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格を取得できることにどの程度満足しましたか。
- ⑭あなたは食品開発科学科において、高等学校教諭1種（農業・理科）、中学校教諭1種（理科）の資格を取得できることにどの程度満足しましたか。
- ⑮あなたは食品開発科学科において、フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、他の食品関連資格を取得できることにどの程度満足しましたか。

設問①から⑮まで大半の学生の満足度は高いと感じられる。しかし、実践的能力を身につけるための教育に関連する設問⑩で否定的な学生が6名おり、さらなる改善が必要と思われる。

[就職支援に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ②あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。

設問①から⑤までで、「特に満足している」、「多少満足している」と回答した学生の割合は高いとはいえ、特に設問③については、そう考えていない学生も多数いるので、さらに改善していく必要性を感じる。

[学習・生活支援に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「学生支援課」があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

- ②あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり，学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり，当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談，大学生活に関する悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり，学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥あなたは南九州大学の「課外活動（部活動，学友会，学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活を送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑦あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑧あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑨あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり，学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

設問①から⑨まで大半の学生が満足を示している。しかし、「どちらでもない」、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」、「未回答」とした学生の数も多く、さらに改善が必要である。特に設問⑤については、早急な対策を取る必要があると思われる。

[施設・設備に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。
- ②あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実，情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「清潔で機能的で，また快適な校舎で学生生活を送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「通学に関して，スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており，通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）」

が充実している」点にどの程度満足しましたか。

どの設問に対しても、「特に満足している」と「多少満足している」と回答した学生が一定数いるが、それ以外の解答をした学生もかなりの数いる。次は、このような否定的な回答をした学生の数をいかに減らすかということを課題として取り組む必要がある。

平成 24・25 年度新入生魅力度調査と平成 27・28 年度卒業生満足度調査の前後比較

[教育研究に対する設問]

設問⑤「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」は、「魅力を感じている」が 71%だったのが、「満足している」が 47%に低下している。また、設問⑦「食品の開発・製造（美味しくつくること）に携わる専門家を育成するための教育・研究を行っている」に関しては、「魅力を感じている」が 88%だったのが、「満足している」が 71%に低下した。これらの点については、新たな設備の導入を予定しているなど、改善を図っている段階である。

設問⑭「高等学校教諭 1 種（農業・理科），中学校教諭 1 種（理科）の資格を取得できること」については、魅力を感じている」が 65%だったのが、「満足している」が 39%に低下していた。このことについては、現在は教職課程を受講している学生が増加傾向にあることから改善が図られていると思われる。

[就職支援に対する質問]

設問③～⑤については、入学時と卒業時でのギャップが見られる。「あまり満足していない」という回答が目立つ。

[学習・生活支援に対する設問]

設問③「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関する悩み相談をしてくれる」と設問⑤「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」は、入学時と卒業時でのギャップが見られる。

[施設・設備に対する設問]

設問①「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」と、設問⑤「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」について、入学時と卒業時でのギャップが見られる。

【 子ども教育学科 】

「新入生魅力度調査アンケート」

新入生 55 名が回答している。回答は 5 段階の評定で魅力の高い方から 5 ～ 1 のいずれかを選択して回答する。したがって、5，4 は「魅力度」が高く、2，1 は「魅力度」が低いことを示している。

【教育研究に対する設問】

教育研究に対する質問項目 15 項目の中で、70%以上が「魅力」ありと回答した項目は 8 つある。内訳は、「南九州の恵まれた環境での勉学」「子ども教育学科の方針」「三つの資格・免許が取れる」「連携学校園方式の採用」「子ども教育学科が掲げる学びの 3 つの特色」「ホーム制や少人数ゼミ」「子ども支援地域活動」「子ども教育学科の学外に開かれた 3 つの活動拠点」「夢を叶える塾」となっている。

【就職支援に対する設問】

就職支援に対する質問項目 5 項目中、70%以上が「魅力」ありと回答した項目は 3 つである。

「就職課の専門スタッフが就職活動の支援をしてくれる」「進路に関するセミナー等の講座が充実」「各学科に関連する求人情報を多く扱っている」がその内訳で、卒業後の就職に関心が高いことがわかる。

【学習・生活支援に対する設問】

学習・生活支援に対する質問項目 9 項目中、70%以上が「魅力」ありと回答した項目は 7 項目である。内訳は、「学習支援課のスタッフが学習支援をしてくれる」「図書館が学習支援に役立つ」「保健室・学生相談室の支援」「生協売店・生協食堂」「課外活動」「学校行事」「奨学金・特待生制度」である。新入生にとって快適・安心の大学生活に期待が高いことを示している。

【施設・設備に対する設問】

施設・設備に対する質問項目 6 項目中、70%以上が「魅力」ありと回答した項目は「清潔・機能的・快適な校舎」「休憩中に過ごせる憩いの場の充実」の 2 つである。

アンケートの結果からは、新入生が子ども教育学科に魅力があると感じていることが示されている。具体的な大学生活が短い中での調査結果であることから、一定の時間を過ごした後にこれらの「魅力」がさらに増すような大学生活となるように子ども教育学科は対

応しなくてはならない。現在の段階で、新入生の期待に応えることができない状況も出現していることを考えると、このアンケート調査を報告書作成のためのものにならないように学部・学科は新入生の期待に応える努力をしなくてはならない。

「卒業予定者満足度調査アンケート」

卒業予定者 71 名が回答している。回答は 5 段階の評定で満足度の高い方から 5～1 のいずれかを選択して回答する。したがって、5，4 は「満足」度が高く、2，1 は「満足」度が低いことを示している。

【教育研究に対する設問】

教育研究に対する質問項目 15 項目中 70%以上が「満足」と回答した項目は 5 つで、その内訳は、「南九州の恵まれた環境での勉学」「子ども教育学科の方針」「三つの資格・免許が取れる」「連携学校園方式の採用」「夢を叶える塾」である。

【就職支援に対する設問】

就職支援に対する質問項目 5 項目中、70%以上の「満足」という項目はない。「就職課の専門スタッフが就職活動の支援をしてくれる」が 67.7%最も満足度の高い項目である。就職支援に関しては必ずしも満足度が高いとはいえないことを示している。

【学習・生活支援に対する設問】

学習・生活支援に対する質問項目 9 項目中、70%以上が「満足」と回答した項目は 5 項目である。内訳は、「学習支援課のスタッフが学習支援をしてくれる」「図書館が学習支援に役立つ」「保健室・学生相談室の支援」「生協売店・生協食堂」「学校行事」である。

【施設・設備に対する設問】

施設・説示に対する質問項目 6 項目中、70%以上が「満足」と回答した項目は「清潔・機能的・快適な校舎」「スクールバスの運行や駐車・駐輪場があり、通学に便利」の 2 つであるが、「休憩中に過ごせる憩いの場の充実」は 69%が「満足」と回答しており、満足度の高い項目はこれらの 3 つである。

調査項目 30 項目中、70%以上が「満足」と回答した項目は 12 項目ある。この結果をどのように意味づけるかについては検討を要するが、この満足度調査は表面的なことに対する回答にとどまっている。卒業予定者に対する満足度調査結果を今後活かすことを考えるならば、もう少し踏み込み、「教育内容の質」「就職支援の質」「学習・生活支援の質」に

ついてなど、具体的内容に対する質問を項目に加える等の調査自体の検討が必要ではない
だろうか。